

江別市観光関連市場の現況調査

【注】

- ① 本資料に掲載の情報は、2023年7月27日現在のものであります。
- ② 本資料に掲載の情報は、今後、記載内容の修正、情報の更新を行う可能性がありますのであらかじめご了承ください。

外部環境

江別市観光関連市場の現況：外部環境

調査項目・内容と調査方法：外部環境

大別1	大別2	調査項目	調査内容	調査方法
現況 分析	外部 環境	世界の旅行市場	<ul style="list-style-type: none"> 世界の旅行市場と観光収入 コロナ禍の回復に係る調査 	<ul style="list-style-type: none"> UNWTO(世界観光機関)調査
		国内の旅行市場	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人旅行者数の推移 訪日外国人旅行者の消費額の推移 国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数の推移 国内旅行消費額の推移 	<ul style="list-style-type: none"> JNTO「訪日外客統計」 観光庁「訪日外国人消費動向調査」 観光庁「旅行・観光消費動向調査」
		道内の旅行市場	<ul style="list-style-type: none"> 道内の観光入込客数の推移 外国人旅行者数の推移 平成28年度月別宿泊客延べ数（繁閑差） 観光消費額単価 北海道の種別宿泊施設数の推移 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道「北海道観光入込客数調査報告書」 北海道「北海道観光の現況2022」 北海道「保健統計年報」
		旅行者の動態	<ul style="list-style-type: none"> 日本人と北海道民の旅行先ニーズ調査 コロナ禍後の旅行ニーズの変化 日本人・外国人の平均滞在日数 近郊都市の観光入込客数、近郊都市の道外・道内客数、近郊都市の日帰り客・宿泊客数、近郊都市の宿泊施設数 	<ul style="list-style-type: none"> 日本交通公社「旅行年報2022」 北海道観光振興機構「北海道来訪者満足度調査報告書」 JTB・JTB総合研究所 観光庁「旅行・観光消費動向調査」 石狩振興局「観光入込客数調査」 北海道健康安全局食品衛生課からの入手資料
		国・北海道の施策	<ul style="list-style-type: none"> 国の観光ビジョンの内容 北海道の観光ビジョンの内容 	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン」 北海道「北海道観光のくにづくり行動計画」 観光庁「予算概要」
		交通環境	<ul style="list-style-type: none"> 国内（道外）航空路線（新千歳空港発着）の種類 国際航空路線（新千歳空港発着）の種類と便数 	<ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港HP
		持続可能な観光	<ul style="list-style-type: none"> 「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた取組み 	<ul style="list-style-type: none"> UNWTO(世界観光機関)調査

江別市観光関連市場の現況：外部環境

世界の旅行市場（1/2）

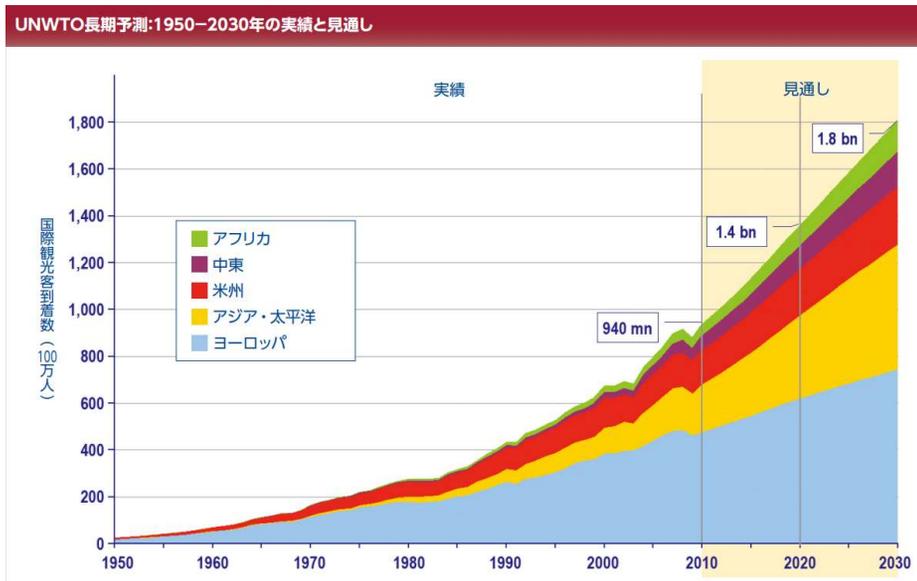
世界の旅行市場と観光収入

国際観光客数は増加傾向

- UNWTO（国連世界観光機関）によるコロナ禍前の見通しでは、世界全体の国際観光客数は、平成22年（2010年）から令和12年（2030年）にかけて世界的に年平均3.3%増加すると予測されています。
- 地域別では、アジア・太平洋地域の成長が著しく、令和12年（2030年）には5.3億人（年平均4.9%増加／世界全体の約3割）に到達する見込みです。

国際観光収入は2019年に過去最高額を記録

- 国際観光収入は令和元年（2019年）に約1.5兆ドルと過去最高額を記録しました。
- 令和2年（2020年）に5,500億ドルと一時的に激減するも、2022年に約1兆ドルと2年連続で増加しています。



国際観光収入の推移



出典) [UNWTO「Tourism Highlights, 2015 Edition」](#) (当市にて日本語訳を付加)

江別市観光関連市場の現況：外部環境

世界の旅行市場（2/2）

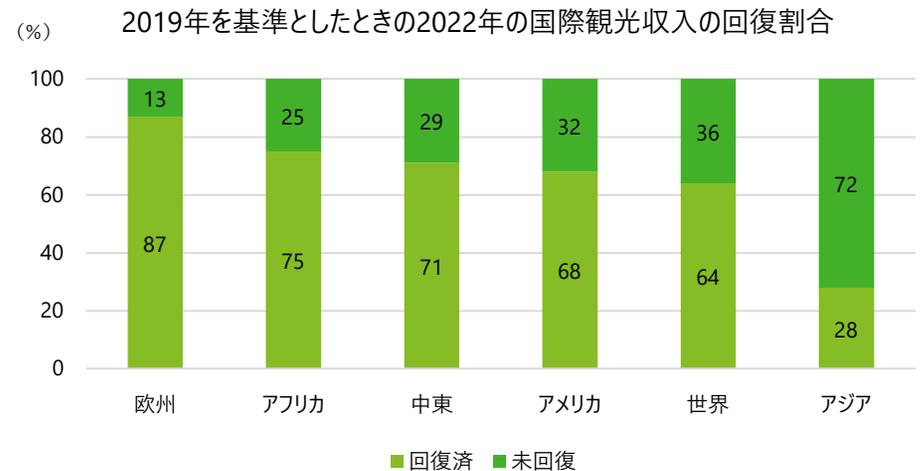
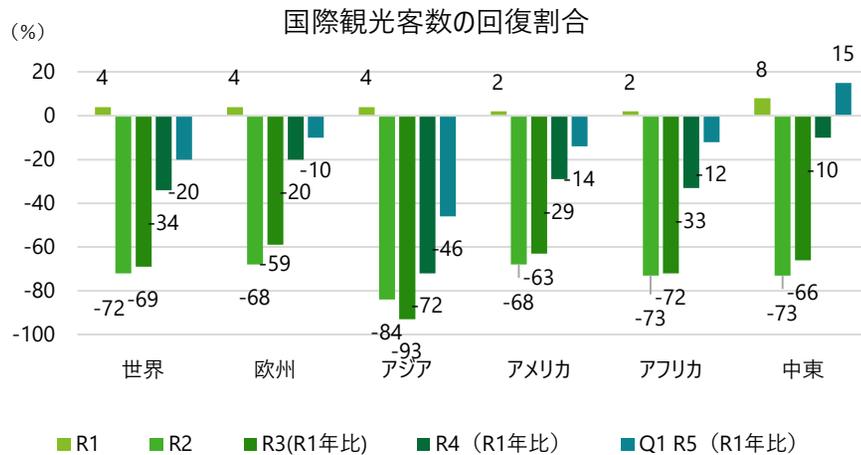
コロナ禍の回復に係る調査

国際観光客数は2022年に8割回復

- 令和元年（2019年）を基準としたときの令和4年（2022年）の国際観光客数の回復割合は、世界では80%まで回復済みです。
- 令和元年（2019年）を基準としたときの令和5年（2023年）第一四半期の国際観光客数はアジアで46%減少し、世界と比較して、26%低いです。

国際観光収入は2022年に6割回復

- 令和元年（2019年）を基準としたときの令和4年（2022年）の国際観光収入の回復割合は、世界では64%まで回復済みです。



出典) UNWTO「UNWTO World Tourism Barometer and Statistical Annex, May 2023」

出典) UNWTO「UNWTO World Tourism Barometer and Statistical Annex, May 2023」

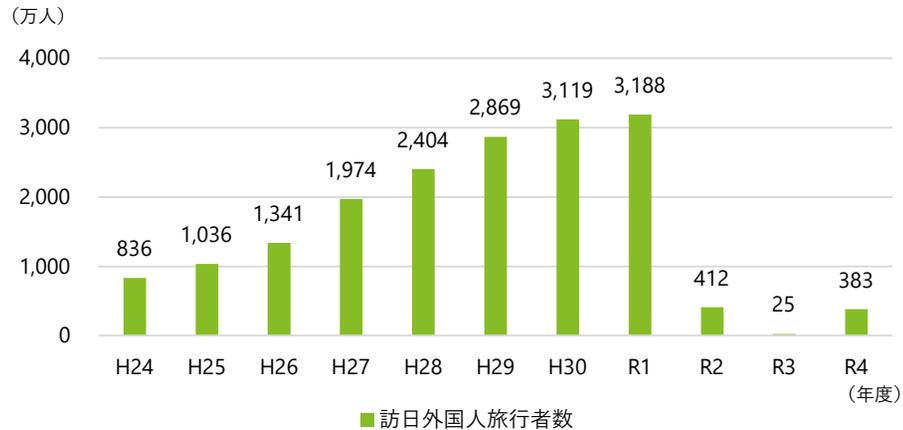
江別市観光関連市場の現況：外部環境

国内の旅行市場（1/2）

訪日外国人旅行者数の推移

観光市場規模拡大

- 訪日外国人旅行者数は、平成24年度（2012年度）から令和元年度（2019年度）まで増加しています。
- コロナ禍以降、訪日外国人旅行者数は大幅に減少しましたが、令和4年度（2022年度）から回復し始めています。

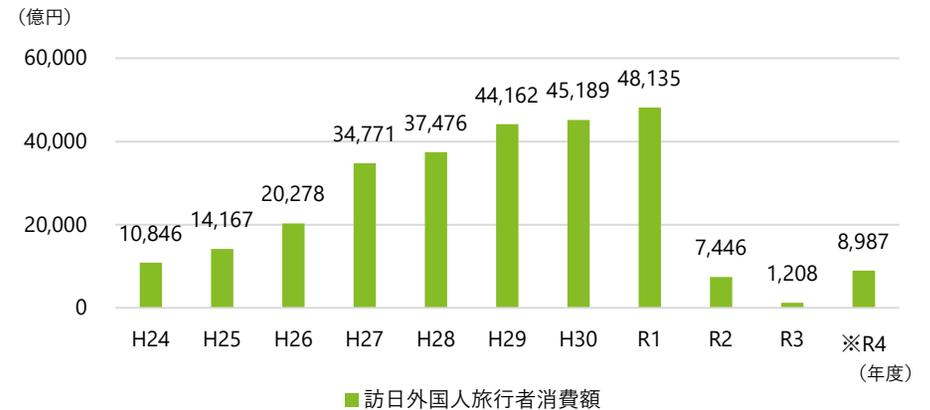


出典) [JNTO「訪日外客統計」](#)

訪日外国人旅行者消費額の推移

令和元年度訪日外国人旅行者消費額は過去最高額を更新

- 訪日外国人旅行者消費額は、平成24年度（2012年度）から令和元年度（2019年度）まで増加しています。
- コロナ禍以降、訪日外国人旅行者消費額は大幅に減少しましたが、令和4年度（2022年度）より回復し始めています。



※令和4年度は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の試算値を採用。

出典) [観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成24年～令和4年度版）」](#)

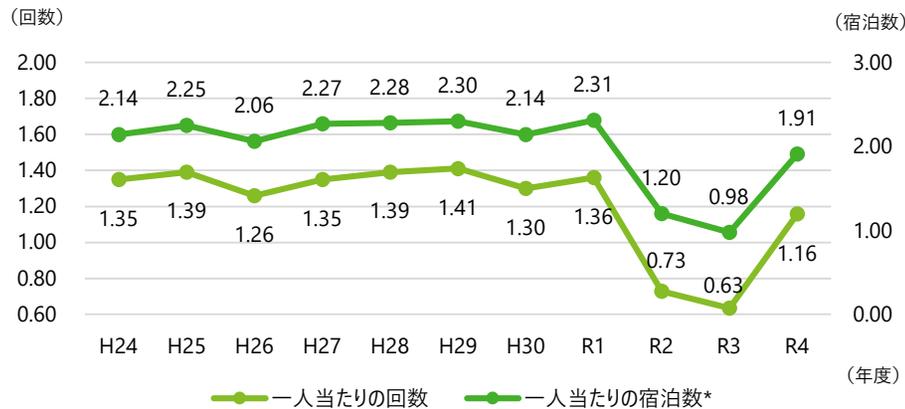
江別市観光関連市場の現況：外部環境

国内の旅行市場（2/2）

国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数の推移

日本人の国内旅行回数、宿泊数は横ばい

- 日本人一人当たりの国内宿泊観光旅行の回数は、ここ数年横ばいです。
- 国民一人当たりの国内宿泊観光旅行の宿泊数は、ここ数年横ばいです。

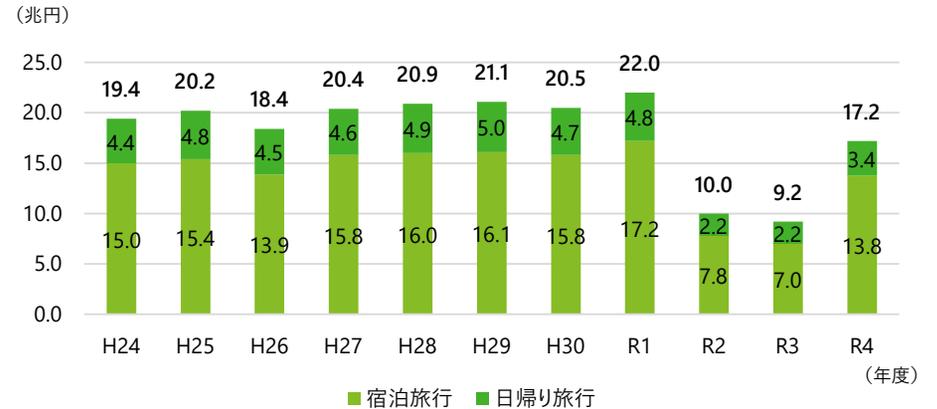


*) 一人当たりの宿泊数 = 一人当たりの回数 × 平均泊数で算出

国内旅行消費額の推移

宿泊旅行消費額は増加傾向

- 令和元年度（2019年度）の国内での日帰り旅行の消費額は、4.8兆円であり、平成24年度（2012年度）以降、ほぼ横ばいです。
- 令和元年度（2019年度）の国内での宿泊旅行の消費額は、17.2兆円であり、平成24年度（2012年度）以降、増加傾向です。



出典) 観光庁「旅行・観光消費動向調査（平成24年～令和4年度版）」

出典) 観光庁「旅行・観光消費動向調査（平成24年～令和4年度版）」

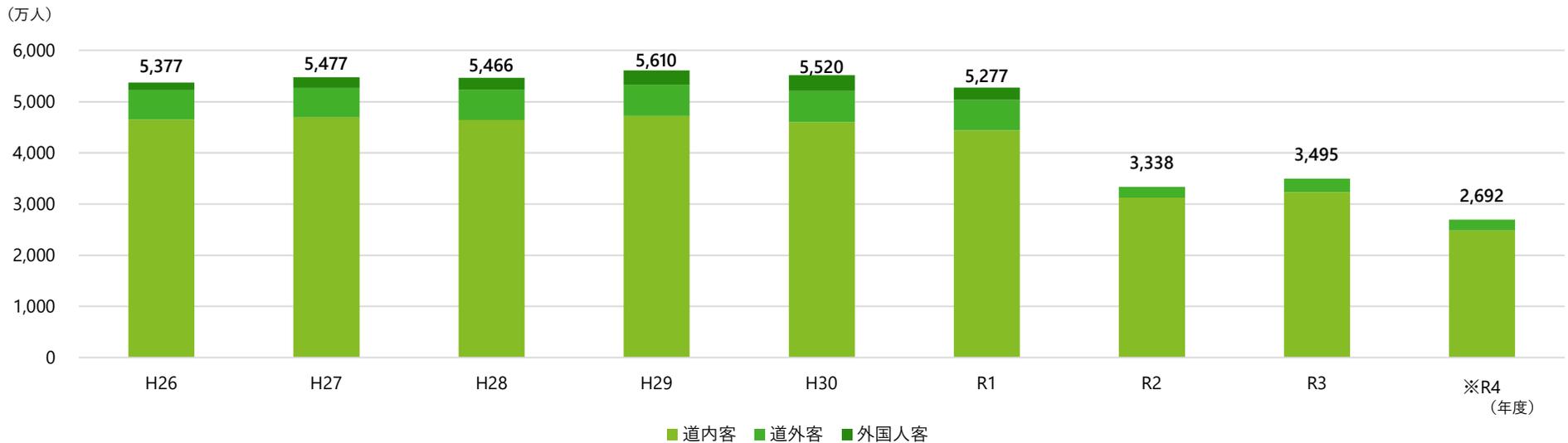
江別市観光関連市場の現況：外部環境

道内の旅行市場（1/3）

道内の観光入込客数の推移

コロナ禍における急減と回復見込み

- 道内の観光入込客数は、平成29年度（2017年度）に5,610万人と過去最高の値を記録しましたが、その後コロナ禍までは、緩やかな減少傾向にありました。
- コロナ禍には令和2年度（2021年度）に3,338万人まで急減しています。
- コロナ禍以降、道内客から順に回復しつつあります。



※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

出典) [北海道経済観光局「北海道観光入込客数調査報告書（平成26年度版~令和4年度版）」](#)

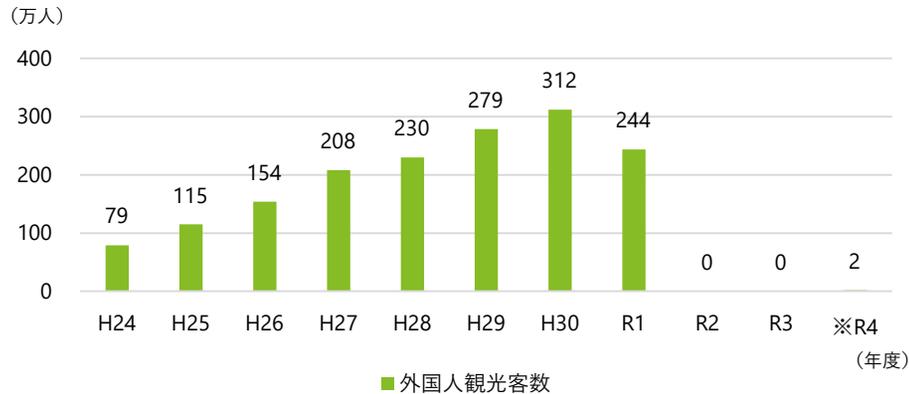
江別市観光関連市場の現況：外部環境

道内の旅行市場（2/3）

外国人旅行者数の推移

来道外国人は増加傾向

- 平成30年度（2018年度）に、北海道の外国人旅行者数は、平成24年度（2012年度）以降、過去最高の312万人となりました。
- コロナ禍以降、北海道の外国人旅行者数は激減しましたが、令和4年度（2022年度）以降、回復しつつあります。



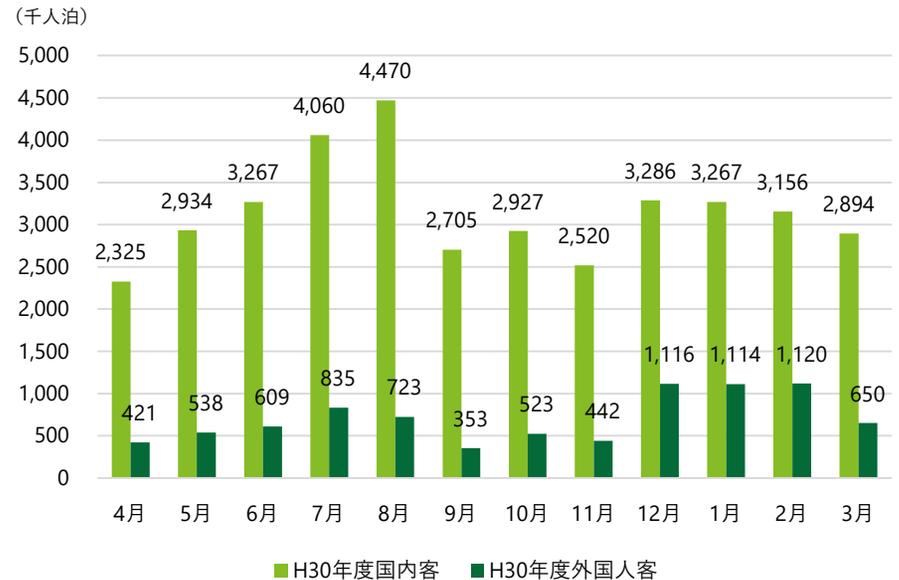
※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

出典 [北海道経済観光局「北海道観光入込客数調査報告書（平成24年度版~令和4年度版）」](#)

平成30年度月別宿泊客延べ数（繁閑差）

夏季と冬季の繁閑差

- 平成30年度（2019年度）の月別の宿泊客延べ数は、国内客は夏に多く、冬に少ない傾向があり繁閑差が見られます。
- 一方で、外国人客は、夏季に少なく、冬季に多い傾向が見られ、国内客とは反対の繁閑差が見られます。



出典 [北海道経済観光局「北海道観光入込客数調査報告書（平成30年度版）」](#)

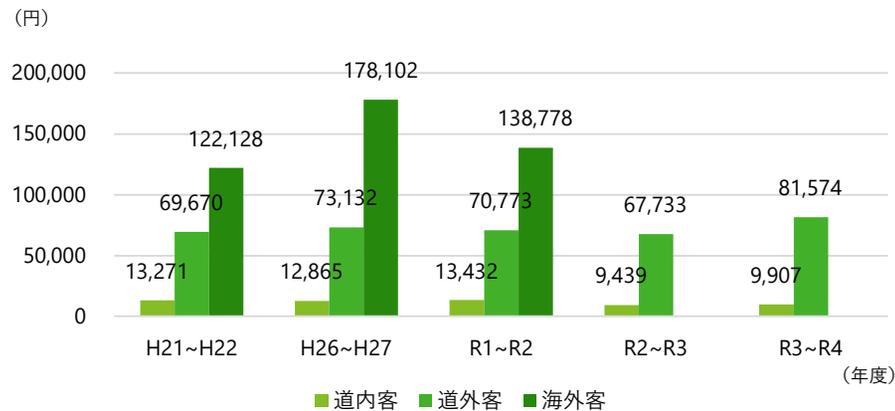
江別市観光関連市場の現況：外部環境

道内の旅行市場（3/3）

観光消費額単価

道外・海外客単価の減少、道内客単価の増加

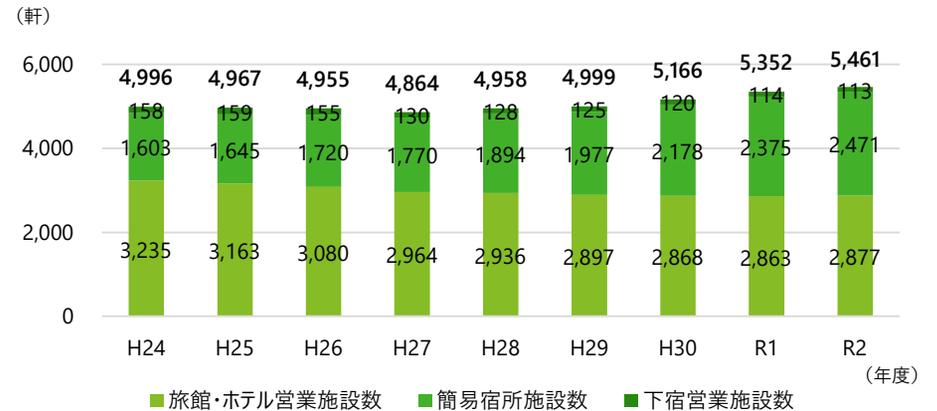
- コロナ禍において、観光消費額単価は、道外客は70,773円（3.3%減少）、海外客は138,778円（22%減少）と減少しています。
- 一方で、道内客は13,432円と4.4%増加しました。



北海道の種別宿泊施設数の推移

簡易宿所数の増大

- 旅館・ホテル営業施設数は減少が続いています。
- 簡易宿所施設数は増加傾向にあり、令和2年度（2022年度）に平成24年度（2012年度）以降、最も多い2,471軒となりました。



出典) [北海道経済観光局「北海道観光の現況2022」](#)

出典) [北海道「保健統計年報（平成24年度~令和2年度）」](#)

江別市観光関連市場の現況：外部環境

旅行者の動態 (1/6)

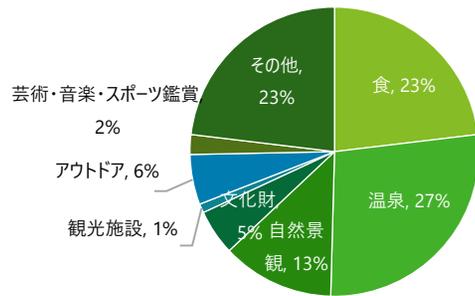
国内客及び道内客の旅行先ニーズ調査

国内客の観光ニーズは

食・温泉・自然景観がトップ3

- 国内客の北海道への旅行の楽しみのトップは「温泉」で、次に「食」、「自然景観」が続き、この3つで全体の半分以上の割合を占めます。

旅行先で最も楽しみにしていたこと (全国)

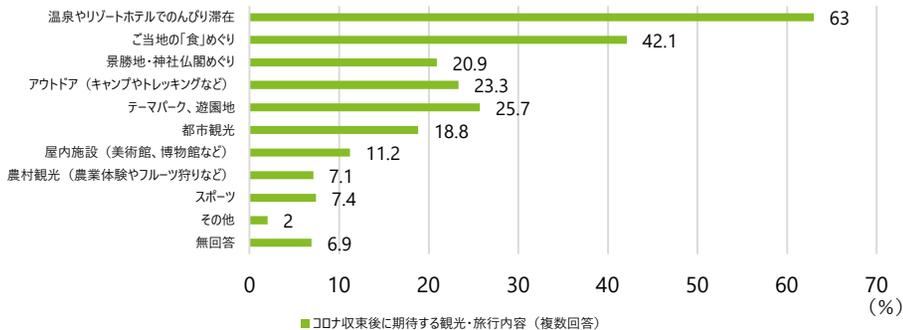


出典：日本交通公社「旅行年報2022」

道内客の道内旅行ニーズは温泉・食・景勝地等がトップ

- 道内客の道内旅行への旅行の楽しみのトップは「温泉」で、次いで「食」、「景勝地等」の順に人気があり、国内客のニーズと近似しています。

コロナ収束後に期待する観光・旅行内容 (複数回答)



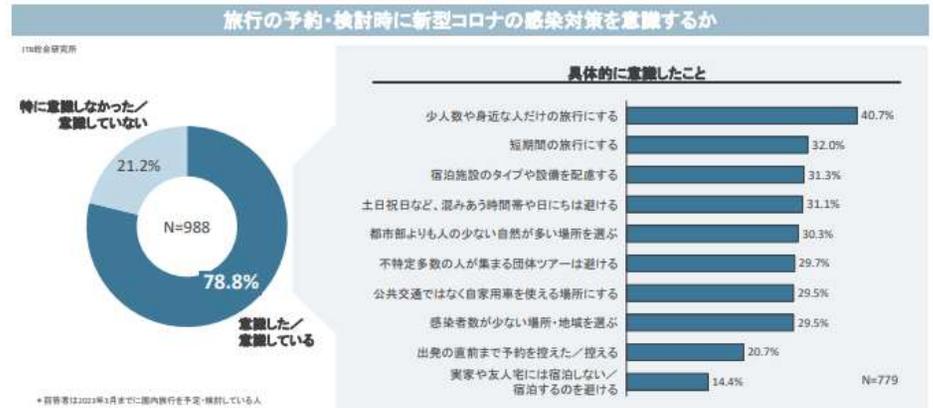
出典) 北海道観光振興機構「北海道来訪者満足度調査報告書 (令和3年度)」

コロナ禍後の旅行形態の嗜好変化

旅行形態が少人数、短期間に変化

- 新型コロナウイルスの感染予防対策について、旅行の予約・検討時に感染防止を「意識した/している」と回答した人は78.8%にのびります。
- 感染予防対策を「意識した/している」と回答した人のうち、40.7%が「少人数や身近な人だけの旅行にする」と回答し、32.0%が「短期間の旅行にする」と回答しました。

【意識調査】旅行の予約・検討時に新型コロナの感染対策を意識するか



出典) JTB・JTB総合研究所「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化及び旅行再開に向けての意識調査2022」

江別市観光関連市場の現況：外部環境

旅行者の動態（2/6）

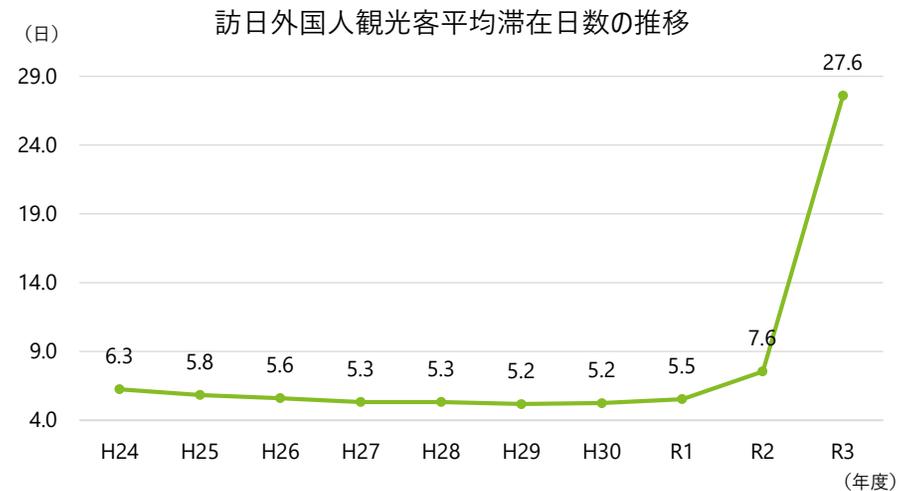
日本人・外国人の平均滞在日数

国内旅行における平均宿泊数はわずかに増加

- 国内宿泊旅行の平均宿泊数は、大きな変化はないものの、わずかに増加傾向にあります。
- コロナ禍で一時的に減少するも、令和4年（2022年）にはコロナ禍以前と同程度の値に回復しました。

外国人観光客の滞在日数は減少傾向

- 平均滞在日数は約5日と日本人と比べて長期滞在となっています。
- 滞在日数は減少傾向でしたが、令和元年（2019年）には平成26年（2014年）の水準まで戻りました。
- コロナ禍以降は滞在日数が長期化しています。



出典) [観光庁「旅行・観光消費動向調査」](#)

出典) [JNTO「日本の観光統計データ」](#)

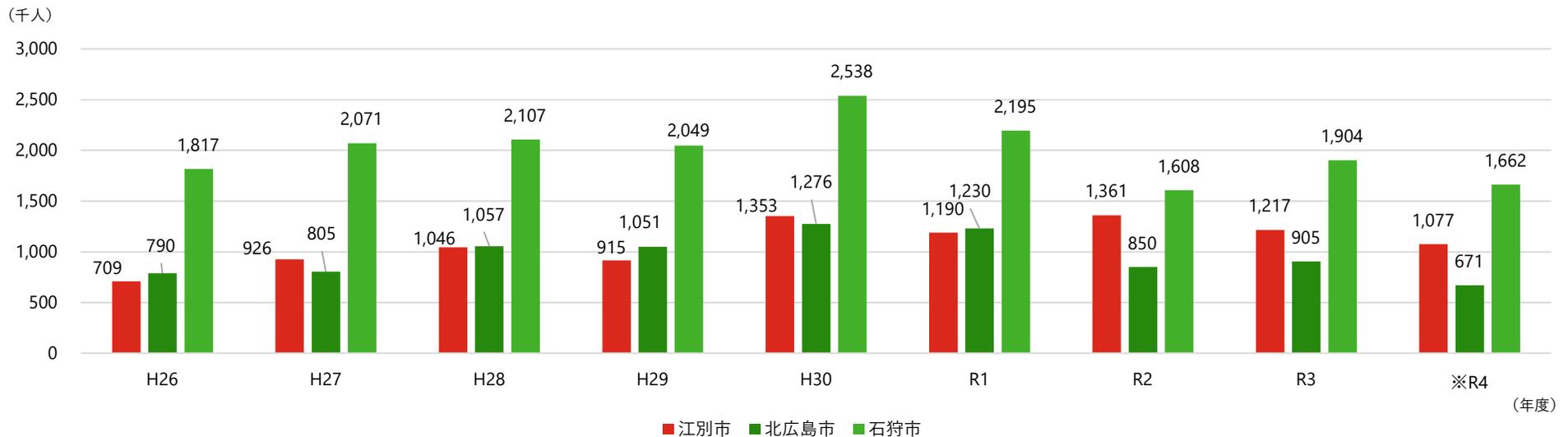
江別市観光関連市場の現況：外部環境

旅行者の動態（3/6）

近郊都市の観光入込客数

コロナ禍における江別市と近郊都市の異なる傾向

- 近郊都市は、平成24年度（2012年度）から平成30年度（2018年度）まで観光入込客数が増え続け、平成30年度（2018年度）に江別市が1,353千人、北広島市が1,276人、石狩市が2,538人と過去最高の値を記録しています。
- 北広島市と石狩市は、道内と同様にコロナ禍での急減と回復がみられますが、江別市はコロナ禍においても増減を繰り返しています。



※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

出典) [石狩振興局「観光入込客数調査（平成24年度～令和4年度）」](#)

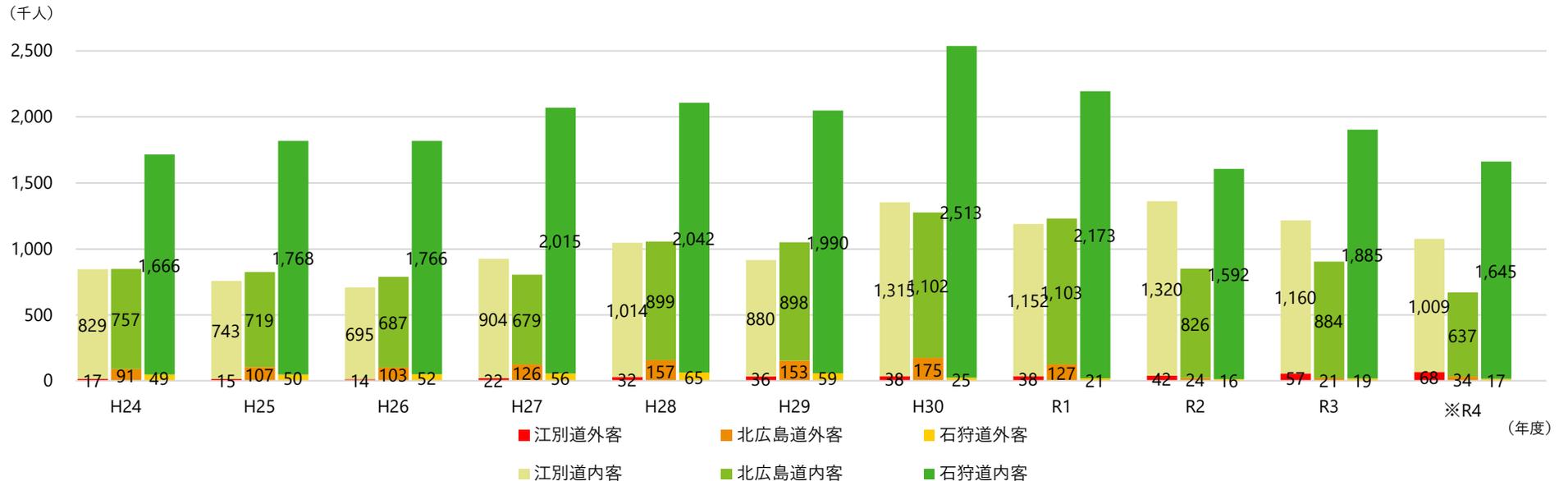
江別市観光関連市場の現況：外部環境

旅行者の動態（4/6）

近郊都市の道外客・道内客数

近郊都市の道外客はコロナ禍を機に減少

- 北広島市は、平成24年度（2012年度）から平成30年度（2018年度）まで道外客数が増え続け、64千人増加しました。一方で、コロナ禍で全体の入込客数が減少し、令和3年度（2021年度）は平成30年度（2018年度）と比較して、154千人減少しました。
- 石狩市は、平成24年度（2012年度）から平成28年度（2016年度）まで道外客が増え続け、16千人増加しました。一方で、平成29年度（2017年度）から減少し、令和3年度（2021年度）は平成28年度（2016年度）と比較して46千人減少しました。
- 江別市は、平成26年度（2014年度）から令和3年度（2021年度）まで道外客が増え続け、43千人増加しました。



出典) 石狩振興局「観光入込客数調査（平成24年度～令和4年度）」

※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

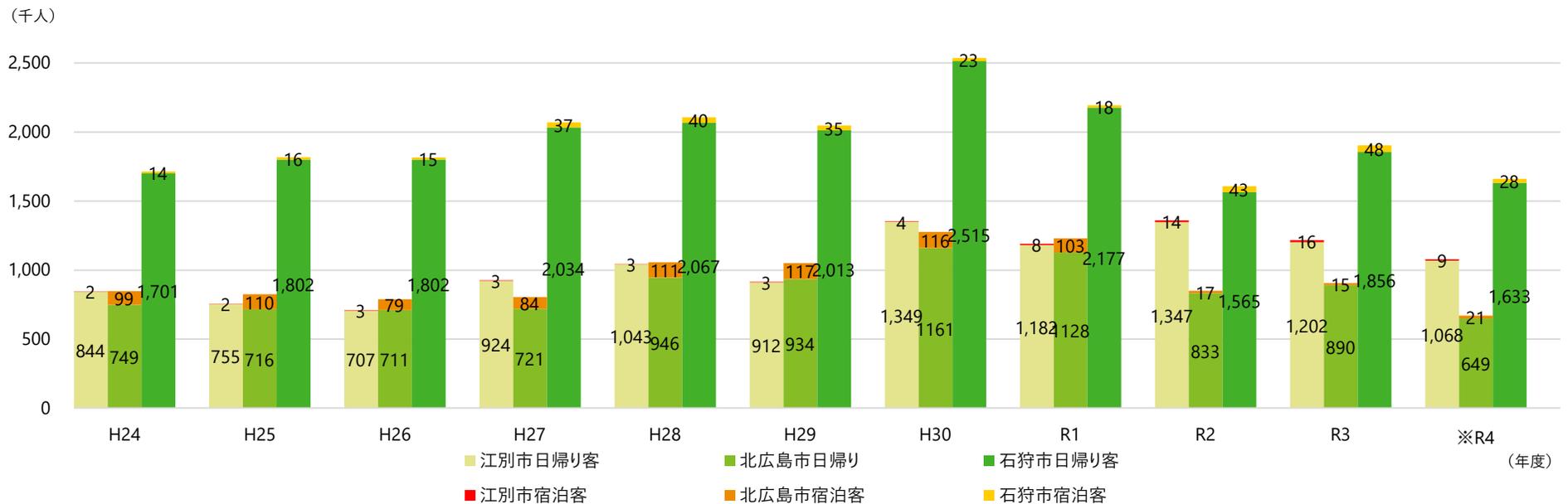
江別市観光関連市場の現況：外部環境

旅行者の動態（5/6）

近郊都市の日帰り客・宿泊客数

江別市の日帰り客はコロナ禍からの回復が鈍重

- 令和元年度（2019年度）から令和2年度（2020年度）のコロナ禍において、北広島市・石狩市の日帰り客数大きくは減少していますが、江別市の日帰り客数は増加しています。
- 令和2年度（2020年度）から令和3年度（2021年度）にかけて、北広島市・石狩市の日帰り客数は、コロナ禍からの回復傾向が見られますが、江別市は日帰り客数が減少しています。



出典) 石狩振興局「観光入込客数調査（平成24年度～令和4年度）」

※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

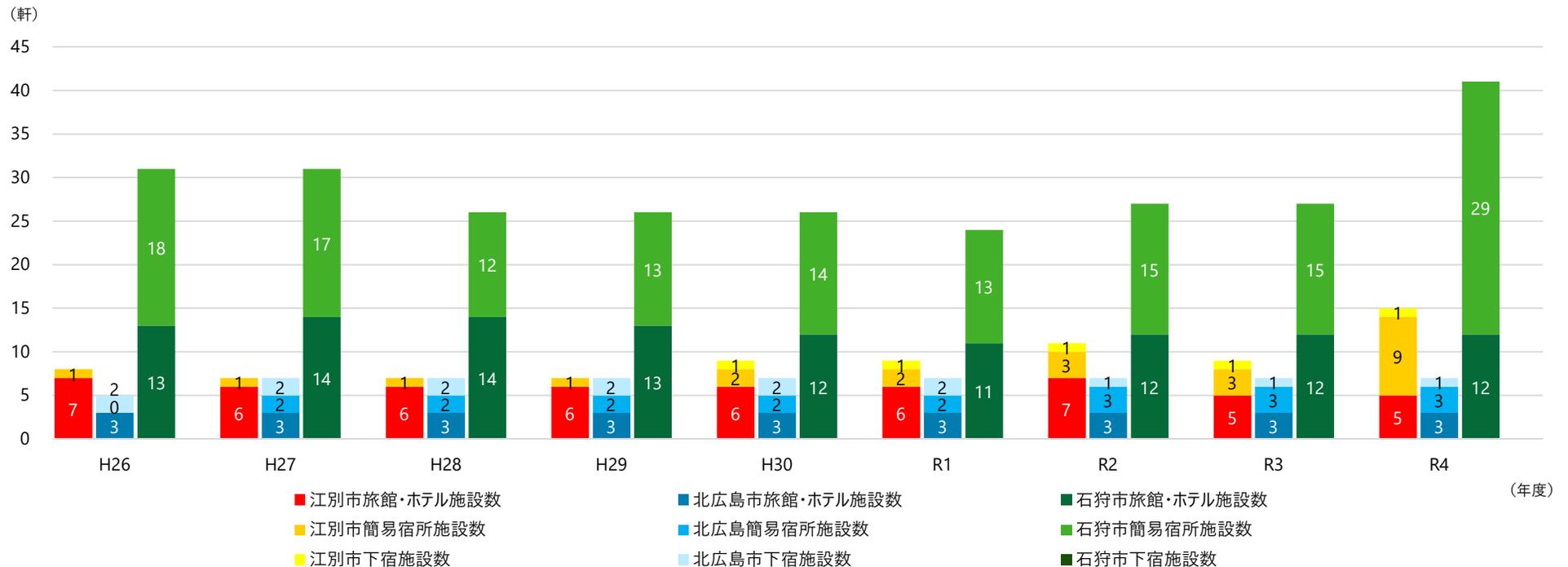
江別市観光関連市場の現況：外部環境

旅行者の動態（6/6）

近郊都市の宿泊施設数

コロナ禍を機に旅館・ホテル数が減少

- 江別市は、コロナ禍を契機に旅館・ホテル数が減少しましたが、北広島市は変動がなく、石狩市は1軒増加しました。
- 江別市は、北広島市・石狩市と比較すると、コロナ禍後に簡易宿所施設数が大幅に増加しました。



出典) 北海道健康安全局食品衛生課からの入手資料

江別市観光関連市場の現況：外部環境

国・北海道の施策

国の観光ビジョンの内容

政府目標：2030年に訪日外国人観光客数を6,000万人へ

- 政府は、平成28年（2016年）3月に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、訪日外国人観光客数を令和2年（2020年）に4,000万人、令和12年（2030年）に6,000万人とする目標を掲げています。
- 令和2年（2020年）の目標は新型コロナウイルスの影響で未達となりましたが、感染収束後の中長期スパンではインバウンドの回復可能性があり、令和12年（2030年）の目標は達成可能として据え置いています。今後は、コロナからの回復、With・Afterコロナ時代への対応、インバウンド受入体制強化、インバウンド向けプロモーションの促進を大きな柱とした施策が展開されます。

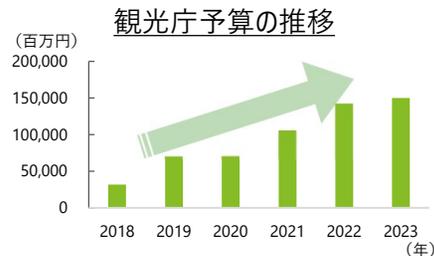
「明日の日本を支える観光ビジョン」数値目標

指標	2020年目標	2030年目標
訪日外国人旅行者数	4,000万人	6,000万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15兆円
地方部での外国人延べ宿泊数	7,000万人泊	1億3,000万人泊
外国人リピーター数	2,400万人	3,600万人
日本人国内旅行消費額	21兆円	22兆円

出典：観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン」

観光庁予算が大きく増加

- 令和5年度（2023年度）の予算額は、2018年度と比較して5倍以上に増加しています。



出典：観光庁「予算概要」

北海道の観光ビジョンの内容

国内旅行の需要喚起

- 北海道では令和3年（2021年）11月に「第5期 北海道観光のくにづくり行動計画」が策定され、令和7年度（2025年度）までの5年間で、インバウンド需要の獲得のみならずコロナ禍の教訓を活かした旅行者比率のリバランス（国内旅行の需要喚起）、ワーケーションなど滞在型観光の促進などの施策が展開されます。

「第5期 北海道観光のくにづくり行動計画」

<p>クリーン×セーフティ北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新北海道スタイル、業種別感染症対策ガイドラインの徹底などによる安全・安心の提供 ・ 広大な自然、密になりにくいアウトドア環境など本道の価値・優位性を再評価 ・ 積極的な情報発信 ・ 環境と共生する観光の推進
<p>量×質の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少社会における道内観光の高付加価値化 ・ 地元（道民）からも愛される観光地づくり ・ 自然環境・食など本道の観光資源のブランド力強化による新規誘客・リピーターの獲得 ・ 富裕層向け商品・サービスの充実による質の向上 ・ AI、IoT等先端技術導入による観光産業の収益構造の改善
<p>旅行者比率のリバランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道民の道内再発見、国内旅行の需要喚起 ・ 渡航制限解除等を見据えた海外需要の獲得 ・ 欧米等新規市場の開拓による市場拡大
<p>新しい旅行スタイルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本道の自然等を活かしたワーケーションの創造などによる滞在型観光の推進 ・ 「ATWS 北海道/日本」を契機に本道の自然・文化等の特性を活かしたアドベンチャー・トラベルの造成・発信 ・ MICE・IRなど新たなインバウンド等の取込方策の検討
<p>観光インフラの強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光の拠点としての道内空港等の利活用 ・ 観光産業を支える人材の確保・育成 ・ 災害時等に観光客の安全・安心に資する基盤の強化
<p>推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光関係団体等との連携推進 ・ 観光振興に係る安定的な財源の確保

出典：北海道「第5期 北海道観光のくにづくり行動計画」

江別市観光関連市場の現況：外部環境

交通環境

国内（道外）航空路線（新千歳空港発着）の種類

8地方24空港との直行便

- 地方都市との直行便が豊富で、国内を周遊しやすい環境となっています。

地方	空港	JAL	ANA	ADO	IBX	APJ	FDA	SKY	JJP	SJO
東北	青森	○	○							
	いわて花巻	○								
	仙台	○	○	○	○	○				
	秋田	○	○							
	山形	○					○			
関東	茨城		○					○		
	成田	○	○			○			○	○
中部	羽田	○	○	○				○		
	新潟	○	○							
	富山さとぎと		○							
	小松		○							
	信州まつもと	○					○			
近畿	富士山静岡	○					○			
	中部	○	○	○		○		○		
中国	伊丹・関西	○	○			○			○	
	神戸		○	○				○		
四国	岡山		運休							
	広島	○	○							
	出雲縁結び	※								
九州	徳島阿波おどり	※								
	松山									○
沖縄	福岡	○	○			○		○		
	那覇			○						

注：航空会社欄のADOはエア・ドゥ、ANAは全日本空輸、APJはピーチ・アビエーション、FDAはフジドリームエアラインズ、IBXはアイベックスエアラインズ、JALは日本航空、JJPはジェットスター・ジャパン、SKYはスカイマーク、SJOはスプリング・ジャパンを示す

出典：新千歳空港HP 2023年7月18日アクセス(共同運航含む)

国際航空路線（新千歳空港発着）

国際就航都市数は最大級

- 新千歳空港は、11の国・地域の24都市に就航しており、那覇空港や福岡空港よりも国数・都市数で上回っています。
- 令和元年（2019年）12月に17年ぶりとなるヨーロッパ直行の定期便（ヘルシンキ国際空港線、FINAIR）が就航となりました。また、アジア圏のインバウンド需要拡大を受けて、中国や韓国の便数が大幅に増加しています。

国・地域	就航都市	国・地域	就航都市
中国	北京	香港	香港
	天津	韓国	釜山
	大連		大邱
	上海	台湾	ソウル
	青島		台北
	南京	高雄	
	杭州	シンガポール	シンガポール
	成都	マレーシア	クアラルンプール
	無錫	タイ	バンコク
	廈門	フィリピン	マニラ
	福州	フィンランド	ヘルシンキ
	アメリカ	ホノルル	ロシア

出典：新千歳空港HP 2023年7月18日アクセス(共同運航含む)



出典：国土交通省「空港管理状況調査」 2023年7月18日アクセス(共同運航含む)

江別市観光関連市場の現況：外部環境

持続可能な観光

「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた取組み

「持続可能な観光」にニーズ

- 平成27年（2015年）、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されたことを受け、UNWTO（国連政界観光機関）は、「**持続可能な観光**」＝「**訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光**」と定義しています。
- 旅行者が旅を楽しみながら、自然環境および地域住民の生活に対する負荷や悪影響を最小化する行動に繋がるように導いていくことが求められています。

「持続可能な観光」における重点分野



観光は、世界の経済成長の原動力の一つであり、現在では、世界で11人に1人が観光分野で働いています。観光が働きがいのある雇用機会を提供することにより、技能と専門性が向上し、社会（特に若者と女性）に恩恵をもたらします。



「持続可能な消費と生産（SCP）」の実践を採択している観光分野は、持続可能性に向けた世界的な転換を加速するための重要な役割を果たすことができます。



観光開発は、破壊されやすい海洋性体系の保全保護を進め、ブルー・エコノミーを促進する手段となるように「総合的沿岸域管理」の一部に組み込まれなければなりません。

出典) UNWTO「観光と持続可能な開発目標」

内部環境

江別市観光関連市場の現況：内部環境①

調査項目・内容と調査方法：内部環境①

大別1	大別2	調査項目	調査内容	調査方法
現況分析	内部環境	観光客入込数	<ul style="list-style-type: none"> 江別市の観光客入込数（年間来客数）の推移 来江別市観光客の割合推移（道内客・国内客・外国人客） 令和3年度・平成28年度月別観光客入込数の推移 道内客・道外客の推移 日帰り客・宿泊客別の推移 主要観光施設の観光入込客数の推移 	<ul style="list-style-type: none"> 石狩振興局「観光入込客数調査」 江別市「第6次江別市総合計画の検証について」
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> 江別市で開催される主なイベント観客数の推移 	<ul style="list-style-type: none"> 当市内部資料を確認
		宿泊環境	<ul style="list-style-type: none"> 江別市内宿泊施設数の推移 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道健康安全局食品衛生課からの入手資料

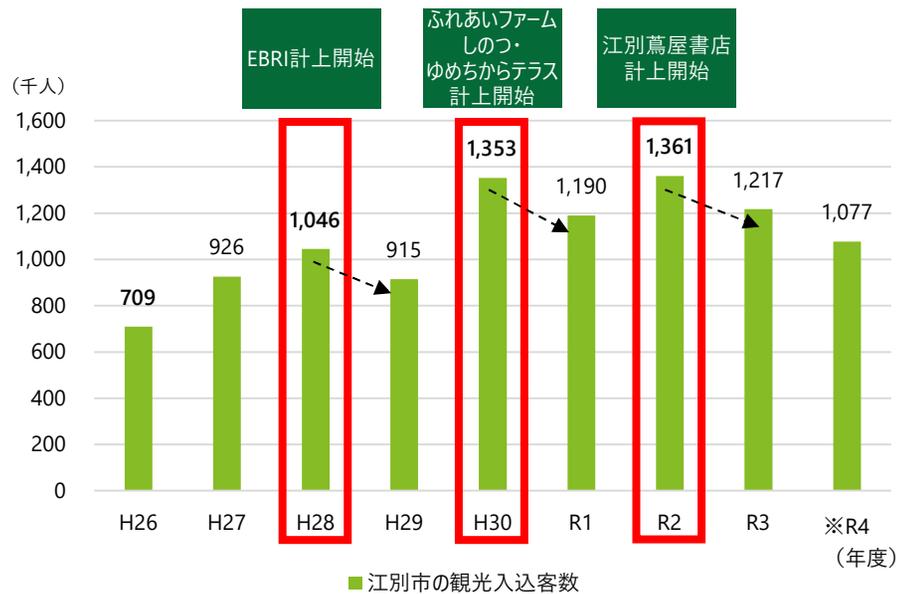
江別市観光関連市場の現況：内部環境①

観光客入込客数（1/3）

江別市の観光客入込数（年間来客数）の推移

総観光入込客数は下降傾向の可能性

- 平成30年度（2018年度）以降における江別市の観光入込客数の増減は、新規開業の観光施設の計上開始の影響によるものと考えられます。
- 観光施設の新規開業がなければ、入込客数の総数は下降を続けることが予想されます。



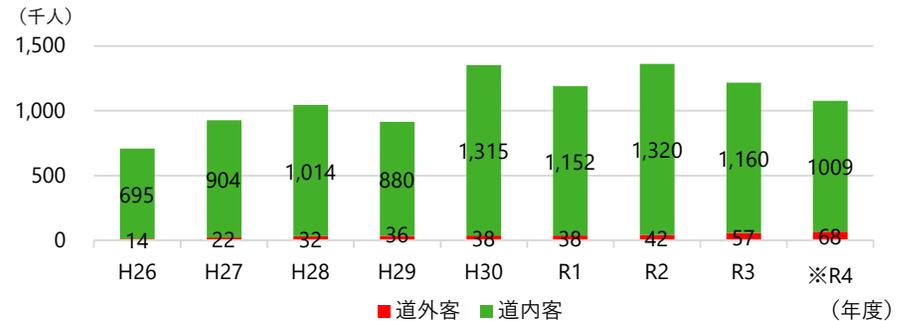
※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

出典 [石狩振興局「観光入込客数調査（平成26年度～令和4年度）」](#)

来江別市観光客の割合推移（道内客・国内客・外国人客）

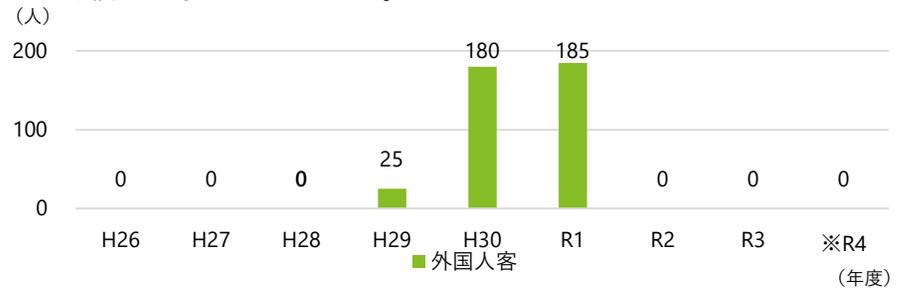
道外客が増加傾向

- 平成30年度（2018年度）に、道内客数が過去最高の1,315千人となり、その後は停滞しています。
- 道外客の割合は少ないですが、平成26年度（2014年度）以降、道外客は増加し続けています。



外国人客が占める割合は少ない

- 外国人客数は、コロナ禍前まで増加傾向にあるものの、道内客、国内客と比較すると少なくなっています。



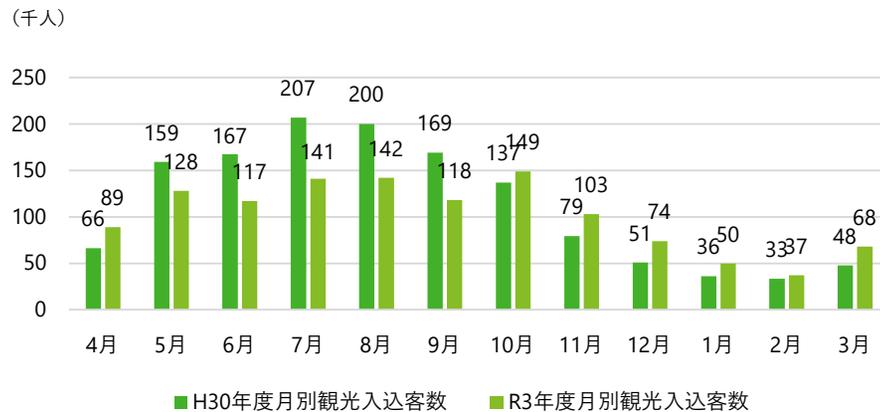
江別市観光関連市場の現況：内部環境①

観光客入込客数（2/3）

平成30年度・令和3年度月別観光入込客数の推移

10月～12月の観光入込客数が増加

- 令和3年度（2021年度）の月別観光入込客数は、平成30年度（2018年度）と比較して、10～12月の観光入込客数が増加しました。
- 特に、令和3年度（2021年度）10月に観光入込客数が149千人となり、最も多い月となりました。



出典 [石狩振興局「観光入込客数調査（平成30年度、令和3年度）」](#)

道外客・道内客別の推移

道外客が増加傾向

- 平成30年度（2018年度）に、道内客数が過去最高の1,315千人となり、その後は停滞しています。
- 道外客の割合は少ないですが、平成26年度（2014年度）以降、道外客は増加し続けています。



※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

出典 [石狩振興局「観光入込客数調査（平成24年度～令和4年度）」](#)

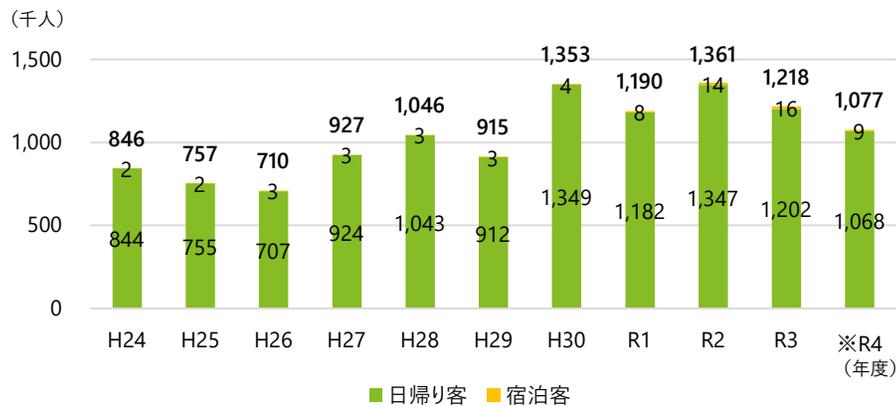
江別市観光関連市場の現況：内部環境①

観光客入込客数（3/3）

日帰り客・宿泊客別の推移

宿泊客が増加傾向

- 平成30年度（2018年度）に、日帰り客数が平成24年度（2012年度）以降、最高の1,349千人となり、その後は増減を繰り返しています。
- 観光入込客数を日帰り客・宿泊客別で見ると、近年宿泊客が増加傾向にあります。



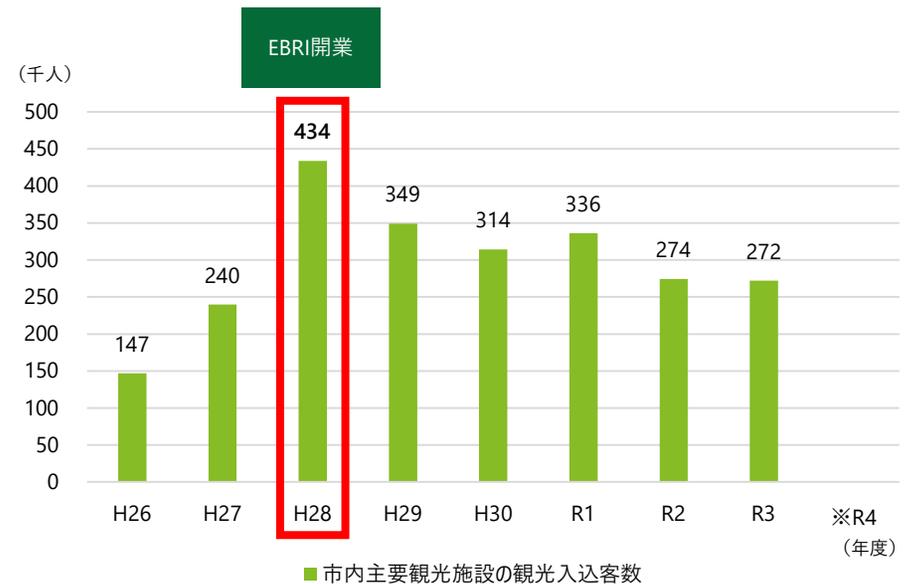
※令和4年度版（2022年度）は通年のデータがないため上期のみの数値を表示しました。

出典 [石狩振興局「観光入込客数調査（平成24年度～令和4年度）」](#)

主要観光施設の観光入込客数の推移

H28年度に最高値を記録して以降減少傾向

- 平成28年度（2016年度）に最高値を記録して以降減少傾向です。
- 平成28年度（2016年度）にはEBRI（エブリ）が開業しており、新規集客効果がみられますが、その後は集客効果が減少し続けているものと予想されます。



※令和4年度（2022年度）はデータなし。

出典 [江別市「第6次江別市総合計画の検証について」](#)

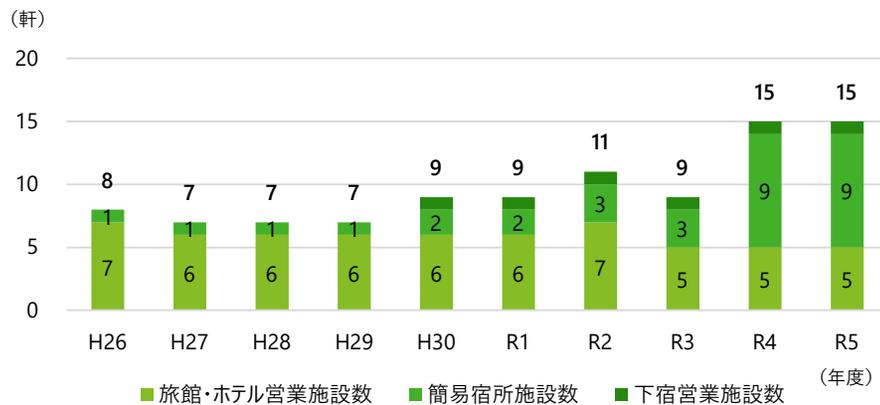
江別市観光関連市場の現況：内部環境①

宿泊施設

江別市の種別宿泊施設数の推移

宿泊旅行市場の拡大

- 江別市の宿泊施設の総数は令和5年度（2023年度）に15軒と、平成26年度（2014年度）以降最多となっています。
- 江別市の旅館・ホテル数は減少傾向にある一方で、簡易宿所数は増加傾向にあります。



出典）北海道健康安全局食品衛生課からの入手資料

イベント

江別市で開催される主なイベント観客数の推移

コロナ禍の影響が継続

- コロナ禍の影響を受けて、複数の主要イベントが中止されています。
- やきもの市は、令和4年（2022年）に再開し、約1万8千人が来訪しました。

単位：千人

	H30	R1	R2	R3	R4
やきもの市	23	30	中止	中止	18
北海鳴子まつり	7	10	中止	中止	中止
スノーフェスティバル	2	2	中止	中止	中止
えべつ花火※	-	-	-	2	2

※えべつ花火は、令和3年から集計対象イベントとした。

出典）当市内部資料を確認

江別市観光関連市場の現況：内部環境②

調査項目・内容と調査方法：内部環境②

大別1	大別2	調査項目	調査内容	調査方法
現況 分析	内部 環境	交通環境	<ul style="list-style-type: none"> 来江別：経路の構成と所要時間、新規経路の計画 周遊：江別市内及びへの交通手段と所要時間、本数 	<ul style="list-style-type: none"> NAVITIME えべナビ 江別市統計書
		経済効果	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の経済効果スキーム 札幌市の経済効果スキーム 北広島市の経済効果スキーム 江別市の経済効果スキーム例 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道「第6回北海道観光産業経済効果調査」 札幌市「札幌市観光産業経済効果」 北広島市「観光の現状」 石狩振興局「観光入込客数調査」
		市民の観光に対する意識	<ul style="list-style-type: none"> 現在の満足度と今後の重要度 将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野 	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まちづくり市民アンケート調査」 江別市「高校生アンケート調査」 江別市「えべつの未来づくりミーティング開催結果」
		観光コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> 江別市における観光コンテンツの分類と一覧 グリーンツーリズム関連施設の利用者数 目的地検索ランキングの推移 	<ul style="list-style-type: none"> 現計画 当市ウェブサイト えべつ観光協会ウェブサイト 江別市「第6次江別市総合計画の検証について」 株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

江別市観光関連市場の現況：内部環境②

交通環境

来江別：経路の構成と所要時間、新規経路の計画

札幌市のみならず北広島市からのアクセスも良好

- 札幌市からの電車での所要時間は約20分です。
- 北広島市からの車での所要時間は札幌市から車での所要時間よりも約10分短いです。

交通手段	札幌市から	北広島市から	新千歳空港から
電車	約20分	約35分	約60分
車	約40分	約30分	約60分
バス	約50分	約50分	約60分

出典) [NAVITIME \(2023年7月14日15時00分\)](#)

江別市を経由する新規経路の計画が進行中

- 新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ高規格道路が全線開通予定です。
- 中樹林道路区間の完成・開通日が、「令和6年度（2024年）全線開通」と確定しました。



出典) [えへナビ「国道337号「道央圏連絡道路 中樹林道路」江別市～南幌町 開通年度確定！計画地図&2021現地レポート」](#)

周遊：江別市内及びへの交通手段と所要時間、本数

JRの運行本数は10-20分に1本

- 江別市内のJRの運行本数は1日に79本で1時間当たり3-6本です。
- 大麻-江別間のJRの所要時間は7-10分です。

出典) [NAVITIME \(2023年7月14日\)](#)

市内バス運行本数、市内タクシー登録台数は減少傾向

- 市内バス運行本数は、平成29年度（2017年度）に36,075本を記録して以降、令和3年（2021年度）は22,047本と減少傾向です。
- 市内タクシー登録台数は、平成29年度（2017年度）に150台を記録して以降、令和3年度（2021年度）は124台と減少傾向です。



出典) [江別市統計書「第8章 運輸・通信」](#)

江別市観光関連市場の現況：内部環境②

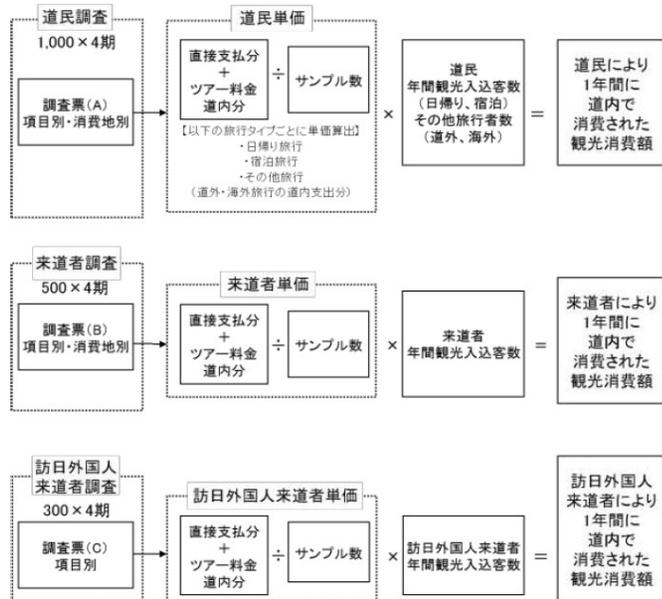
経済効果スキーム事例（1/2）

北海道の経済効果スキーム

観光消費単価のアンケート調査を実施

- 北海道は、道内、道外、外国人客に対してアンケートを実施し、観光消費単価を推定しています。
- 推定した観光消費単価に、北海道の観光入込客数を乗じることで、観光消費額を算出しています。

北海道観光消費額算出方法



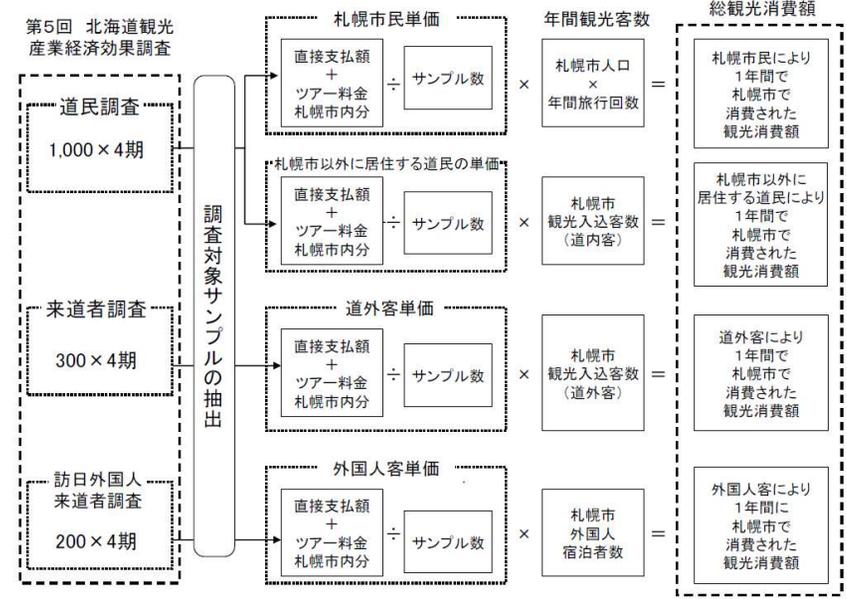
出典) 北海道「第6回北海道観光産業経済効果調査」

札幌市の経済効果スキーム

道調査結果から観光消費単価を推定

- 北海道が実施した「北海道観光産業経済効果調査」から、札幌市に係るデータを抽出し、札幌市の観光消費単価を推定しています。
- 推定した観光消費単価に、札幌市の観光入込客数を乗じることで、観光消費額を算出しています。

札幌市観光消費額算出方法



出典) 札幌市「札幌市観光産業経済効果」

江別市観光関連市場の現況：内部環境②

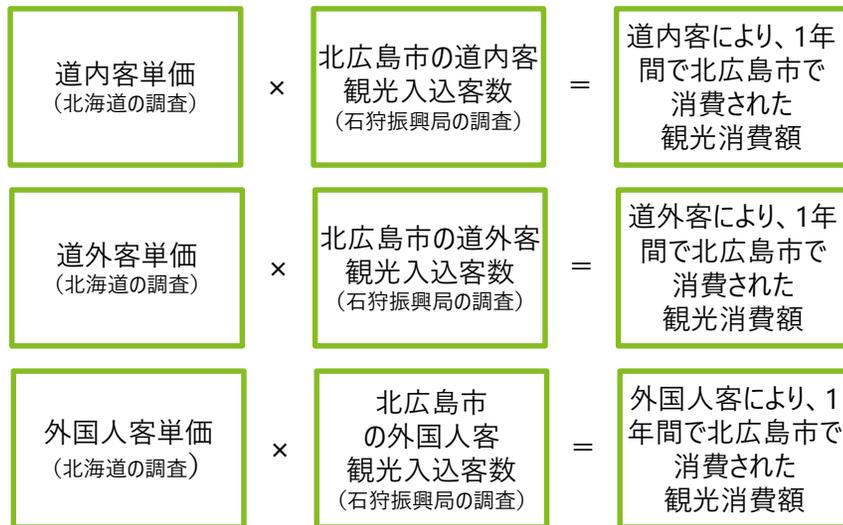
経済効果スキーム事例（2/2）

北広島市の経済効果スキーム

北海道の観光消費単価で代用

- 北広島市の観光消費単価は北海道の道内、道外、外国人客の観光消費単価で代用しています。
- 北広島市の観光入込客数に観光消費単価を乗じることで、北広島市の観光消費額を算出しています。

北広島市観光消費額算出方法

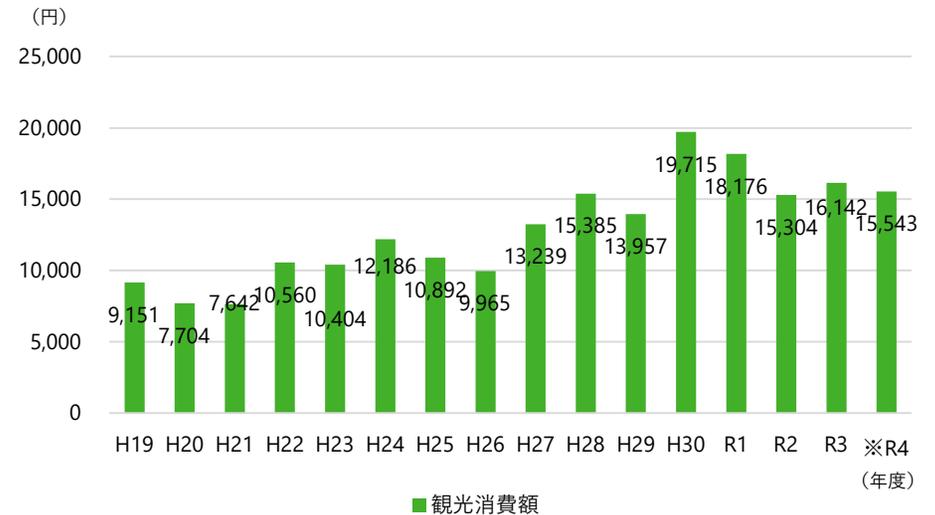


出典) [北広島市「観光の現状」](#)

江別市の経済効果スキーム例

観光消費額の算出例

- 江別市の観光消費単価は北海道の道内、道外、外国人客の観光消費単価で代用しました。
- 江別市の観光入込客数に観光消費単価を乗じることで、江別市の道内、道外、外国人客の観光消費額を算出し、その総和をグラフにしました。



出典) [石狩振興局「観光入込客数調査（平成24年度～令和4年度）」](#)

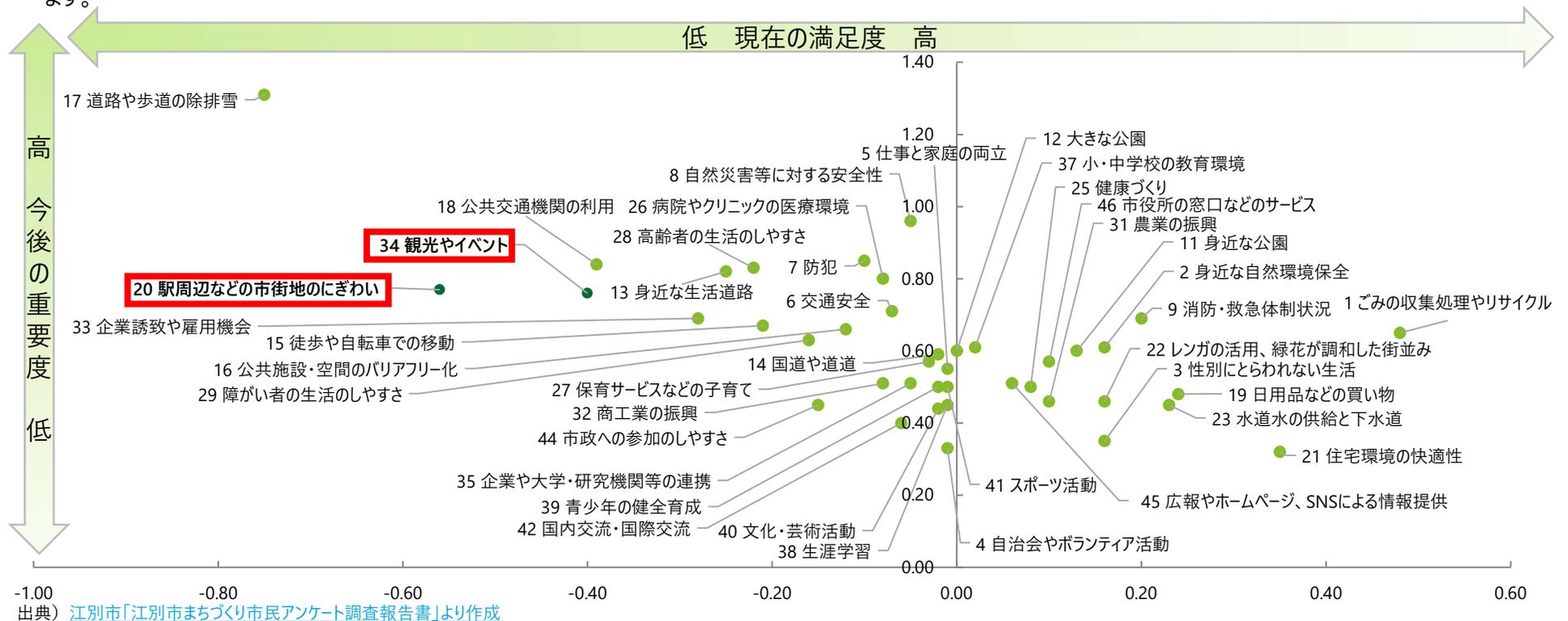
江別市観光関連市場の現況：内部環境②

市民の観光に対する意識（1/3）

現在の満足度と今後の重要度

まちのにぎわいに関する回答が上位に食い込む

- 江別市によるまちづくり市民アンケートでは、現在の満足度が低く今後の重要度が高いものとして、「道路や歩道の除排雪」、「公共交通機関の利用」といった生活環境に関する項目が多く選ばれています。
- 一方で、現在の満足度が低く今後の重要度が高いものとして、「観光やイベント」、「駅周辺などの市街地のにぎわい」といった観光やにぎわいに関する項目も選ばれています。



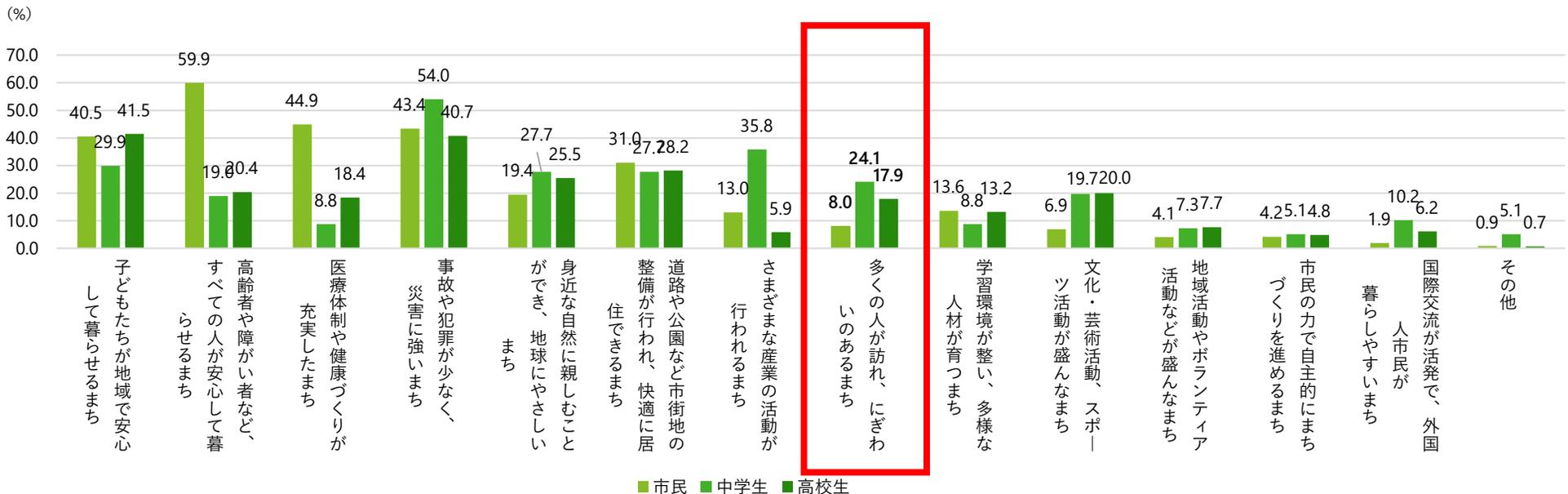
江別市観光関連市場の現況：内部環境②

市民の観光に対する意識（2/3）

将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの

「にぎわい」の選択率は、年齢層によって異なる

- 江別市による市民まちづくりアンケートでは、「将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの」として、まちの暮らしやすさに関する選択肢が上位を占めています。
- 現状では、江別市が観光地であるイメージ（「多くの人が訪れ、にぎわいのあるまち」）を選ぶ市民は少ない状態です。
- 一方で、市内の中学生と高校生に対するアンケートでは、江別市が観光地であるイメージを選ぶ割合が、市民よりも高くなっています。



出典) 江別市「江別市まちづくり市民アンケート調査報告書」、「高校生アンケート調査結果の概要」より作成

江別市観光関連市場の現況：内部環境②

市民の観光に対する意識（3/3）

人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野

「観光」の意義への認識が不足

- 令和4年度1月から7月にかけて行われたえべつ未来づくりミーティングには、中高生からシニア世代まで、幅広い年齢層の市民が参加しました。
- 「人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野」では、全10分野中6位に「観光」がランクインしています。
- 一方で、3位の「働く場」、「情報発信、PR」は、観光振興を行うことで、間接的に効果を発揮させることが可能な分野です。

順位	分野・取組
1位	子育て支援、教育
2位	障がい者福祉、障がい者支援
3位	働く場 情報の発信、PR
5位	DX
6位	観光
7位	アクティブシニア、高齢者の活躍支援 高齢者福祉、高齢者支援
9位	子どもを産める産科
10位	公共交通

分野・取組	主な意見（抜粋）
働く場	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤めるところがあることで人が集まると思うので、もっと企業誘致をすべき ● 札幌市や東京などに行ってしまう若い人を引き止めるには、江別市内に魅力的な就職先がなければいけない ● これから発展するであろう産業を優遇して誘致してはどうだろうか ● 大企業の誘致を。子どもが遊べるレジャースポット、IKEAなど。働く場があれば、市の財政が潤い、市外への転出も防ぐことができるのでは
情報の発信、PR	<ul style="list-style-type: none"> ● ネームバリューが弱いと感じている。もっとブランド力を強めてほしい ● 江別市の魅力が伝わると、人口増加につながるのではないと思うので、江別市の魅力をもっと多くの人に伝えてほしい ● レンガや小麦をもっとアピールしたら良いと思う ● 埋蔵文化財や歴史、北海道遺産のレンガなどがあるので、そういうものを生かして、ロマンをかきたてるようなイメージづくりをしてはどうか。

出典）江別市「えべつの未来づくりミーティング開催結果（分析編）」より作成

江別市観光関連市場の現況：内部環境②

観光コンテンツ（1/2）

江別市における観光コンテンツの分類と一覧（現計画「江別市地域ブランド調査」）

カテゴリ		カテゴリ	
食と農	江別のパン	施設	美原大橋
	江別のスイーツ	イベント	スノーフェスティバル
	えぞ但馬牛		北海鳴子祭り
	江別小麦めん		えべつやきもの市
	江別農産物	自然	ノハナショウブ群生地
	大盛グルメ		しのつ河畔林
	ヤツメウナギ		石狩川
	ハルユタカなどの江別の小麦		夜空と星空
	江別の地酒	スポーツ・アクティビティ	江別のウィンタースポーツ
施設	町村ミルクガーデン		グリーンボール
	野幌森林公園	工芸体験	
	野幌総合運動公園	街歩き・自然散策	
	北海道立図書館	場所	江別のパワースポット
	江別ガラス工芸館		江別古墳群
	アースドリーム角山農場	特産	煉瓦
	EBRI	その他	大学・短大
	江別河川防災ステーション		えべちゅん
江別市セラミックアートセンター			

出典) [江別市「江別市観光振興計画」](#)より作成

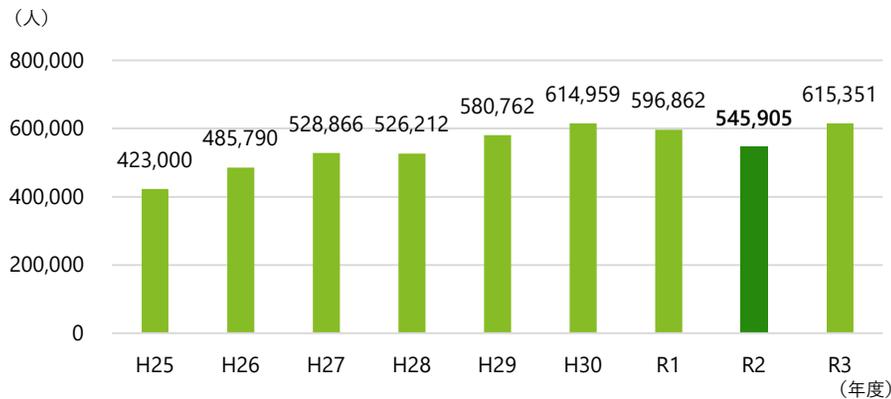
江別市観光関連市場の現況：内部環境②

観光コンテンツ（2/2）

グリーンツーリズム関連施設の利用者数

利用者数は増加傾向

- グリーンツーリズム関連施設利用者数は増加傾向でしたが、コロナ禍の令和2年度（2019年度）には減少しています。
- 「第6次江別市総合計画の検証」では、コロナ禍において都市と農村の交流機会が減少したと考えられるため、都市と農村の交流を促進する必要があると指摘されています。

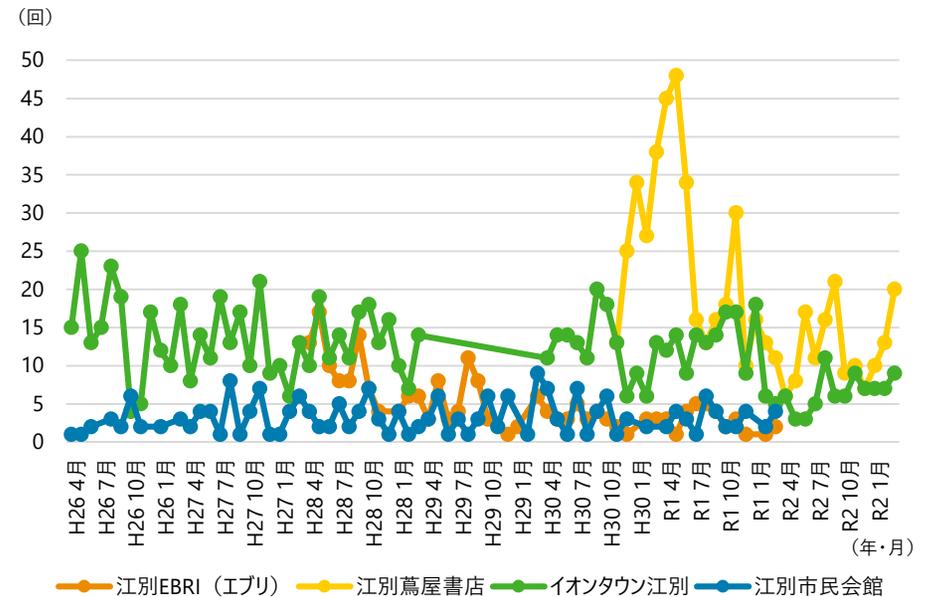


出典) [江別市「第6次江別市総合計画の検証について」](#)

目的地検索ランキングの推移

観光施設開業時の単発的な集客に留まる可能性

- EBRI（エブリ）は、平成28年（2016年）3月の開業後、同5月に検索数が最多となり、その後減少傾向にあります。
- 江別蔦屋書店も、平成30年（2018年）11月の開業後、令和1年5月に検索数が最多となり、その後減少傾向にあります。
- 主要観光施設の検索回数が、開業時の一時的な増加後に減少を続ける一方、日常生活に関わる施設は恒常的に検索されています。



出典) [株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」](#)